

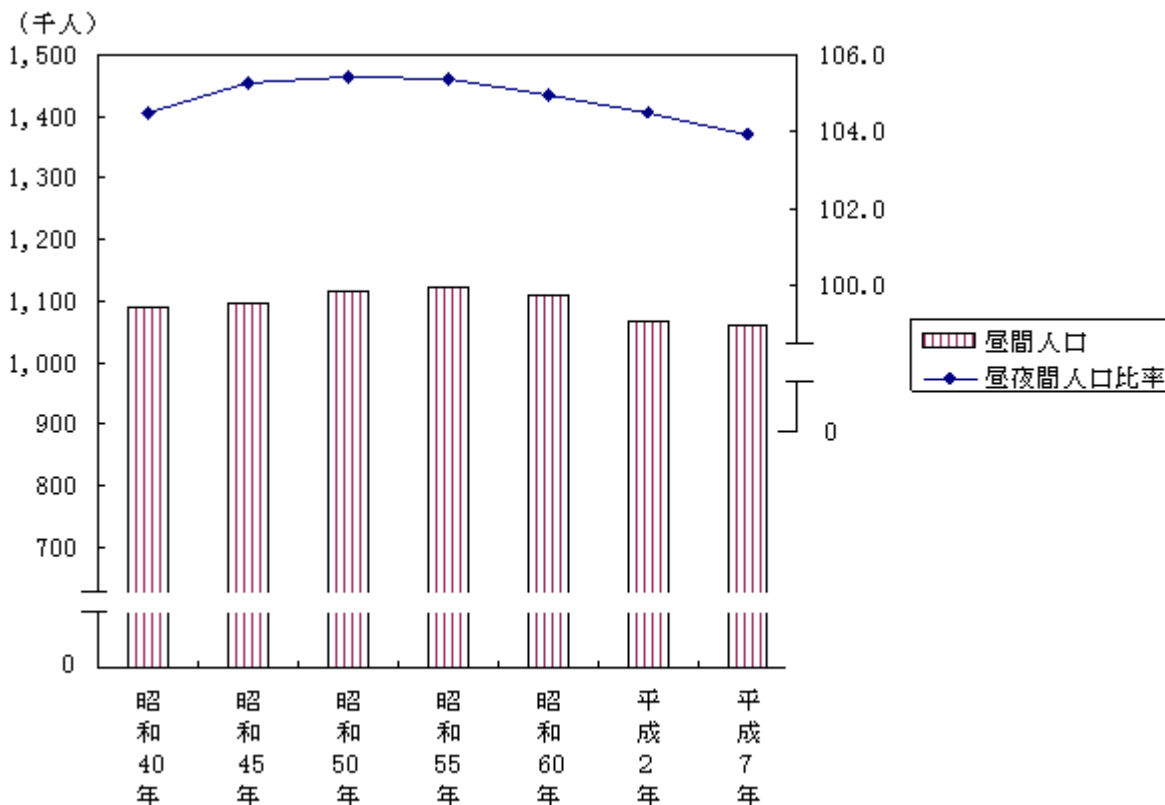
# 平成 7 年国勢調査結果の概要（その 4）

平成 7 年 10 月 1 日現在で実施された国勢調査の従業地・通学地集計のうち、北九州市に関する結果の概要を取りまとめたものである。

## 1 昼間人口

平成 7 年の 間人口は、1,058,927 人、夜間人口比率は 103.9 であった。これを平成 2 年と比べると、昼間人口は 9,458 人(0.9%)、昼夜間人口比率は 0.6 ポイントそれぞれ減となった。

図 - 1 昼間人口及び昼夜間人口比率の推移



昼間人口と昼夜間人口比率の推移を見ると、昼間人口は昭和 55 年を昼夜間人口比率は昭和 50 年をそれぞれピークとして減少している。昼間人口は昭和 55 年の 1,121,011 人と比べると 62,084 人の減少で、これはこの間の 間人口の減少 45,051 人を 37.8%上回る結果となった。

注 1：「昼間人口」とは、常住地からの通勤・通学による流入・流出人口を加減して算出した「従業地・通学地による人口」である。算出は次式による。

$$\begin{aligned} \text{北九州市の昼間人口} &= \text{北九州市の常住人口} - \\ &\quad \text{北九州市からの流出人口} + \text{北九州市への流入人口} \\ & \quad (\text{ここで用いる流入・流出人口には 15 歳未満の者も含まれる。}) \end{aligned}$$

注2:「昼夜間人口比率」は次式により算出される。

$$\text{北九州市の昼夜間人口比率} = (\text{北九州市の昼間人口} / \text{北九州市の常住人口}) \times 100$$

注3:「夜間人口」とは、常住人口のことであるが従業地・通学地集計における常住人口及び昼間人口には年齢不詳の者を含まない。

表-1 昼間人口及び昼夜間人口比率の推移

年次	夜間人口	流入人口	流出人口	昼間人口	昼夜間人口比率
昭和40年	1,042,388	60,793	13,831	1,089,350	104.5
昭和45年	1,042,321	72,164	17,096	1,097,389	105.3
昭和50年	1,058,058	79,510	21,919	1,115,649	105.4
昭和55年	1,063,948	84,254	27,191	1,121,011	105.4
昭和60年	1,055,986	83,243	30,729	1,108,500	105.0
平成2年	1,022,737	83,884	38,236	1,068,385	104.5
平成7年	1,018,897	86,776	46,746	1,058,927	103.9

区別に昼間人口を見ると、小倉北区が最も多く268,388人(全市の昼間人口に占める割合25.3%)、次いで八幡西区246,204人(同23.3%)、小倉南区173,385人(同16.4%)と続いている。平成2年調査と比べると、小倉南区10,458人(6.4%)増、若松区2,357人(2.8%)増、八幡西区371人(0.2%)増の3区で増加したものの、小倉北区7,442人(2.7%)減、八幡東区6,342人(6.8%)減など4区で減少した。

昼夜間人口比率が100を超えているのは、小倉北区138.5、戸畑区123.5、八幡東区101.6の3区であった。また、平成2年と比べて昼夜間人口比率が上昇したのは、門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区の4区であった。

表-2 行政区別昼間人口

区別	常住人口				昼間人口				昼夜間人口比率	
	平成2年	平成7年	増減		平成2年	平成7年	増減		平成2年	平成7年
			実数	増減率			実数	増減率		
北九州市	1,022,737	1,018,897	△3,840	△0.4	1,068,385	1,058,927	△9,458	△0.9	104.5	103.9
門司区	127,682	120,890	△6,792	△5.3	119,947	115,097	△4,850	△4.0	93.9	95.2
小倉北区	200,115	193,728	△6,387	△3.2	275,830	268,388	△7,442	△2.7	137.8	138.5
小倉南区	192,977	204,934	11,957	6.2	162,927	173,385	10,458	6.4	84.4	84.6
若松区	88,200	91,755	3,555	4.0	85,032	87,389	2,357	2.8	96.4	95.2
八幡東区	90,977	85,391	△5,586	△6.1	93,070	86,728	△6,342	△6.8	102.3	101.6
八幡西区	252,502	256,013	3,511	1.4	245,833	246,204	371	0.2	97.4	96.2
戸畑区	70,284	66,186	△4,098	△5.8	85,746	81,736	△4,010	△4.7	122.0	123.5

区別	流入人口				流出人口			
	平成2年	平成7年	増減		平成2年	平成7年	増減	
			実数	増減率			実数	増減率
北九州市	83,884	86,776	7,179	3.4	38,236	46,746	12,797	22.3
門司区	14,214	16,581	2,367	16.7	21,949	22,374	425	1.9
小倉北区	102,310	103,147	837	0.8	26,595	28,487	1,892	7.1
小倉南区	20,136	23,179	3,043	15.1	50,186	54,728	4,542	9.1
若松区	14,027	15,968	1,941	13.8	17,195	20,334	3,139	18.3
八幡東区	26,545	24,898	△1,647	△6.2	24,452	23,561	△891	△3.6
八幡西区	44,047	44,999	952	2.2	50,716	54,808	4,092	8.1
戸畑区	32,806	32,492	△314	△1.0	17,344	16,942	△402	△2.3

この結果を見ると、商工業の集積が進んでいる区には就業者・通学者が流入し、その周辺の住宅地域となっている区からは流出していることが読み取れる。これは、前回調査においても同様であった。

## 2 流入・流出口

### (1) 流入人口

昼間に就業・通学のために市外から流入する人口は、通勤者 69,994 人、通学者 16,782 人の合計 86,776 人となり、平成 2 年調査と比べて 2,892 人(3.4%)の増であった。

流入人口のうち通勤者を年齢別に見ると、45～49 歳の 10,678 人が最も多く、次いで 50～54 歳の 10,133 人となっている。この 2 階級で流入通勤者の約 3 割を占めている。通勤者のうち男は 51,981 人、女は 18,013 人となっている。

表 - 3 常住地又は従業地による年齢(5 歳階級),男女別 15 歳以上就業者数

男女, 年齢(5歳階級)	常住地による就業者数					従業地による就業者数			
	総数	自宅で 従業	自宅外で従業			総数	うち自宅外で従業		
			総数	自市内で 従業	市外で 従業		総数	自市内に 常住	市外に 常住
総数	469,396	38,789	430,607	391,914	38,693	500,697	218,293	148,299	69,994
15～19 歳	9,869	190	9,679	8,973	706	10,300	4,180	3,043	1,137
20～24	50,730	722	50,008	45,216	4,792	53,644	27,101	19,395	7,706
25～29	46,867	1,233	45,634	40,706	4,928	48,709	24,935	18,165	6,770
30～34	41,635	1,739	39,896	35,655	4,241	43,071	21,235	15,558	5,677
35～39	44,316	2,403	41,913	37,553	4,360	46,651	21,869	15,174	6,695
40～44	55,713	3,684	52,029	47,207	4,822	59,809	26,570	17,652	8,918
45～49	67,855	5,548	62,307	56,714	5,593	72,940	30,618	19,940	10,678
50～54	55,759	5,028	50,731	46,779	3,952	61,940	26,956	16,823	10,133
55～59	44,668	5,038	39,630	36,696	2,934	49,552	20,572	12,754	7,818
60～64	26,939	4,838	22,101	20,605	1,496	28,174	8,828	6,097	2,731
65～69	14,358	3,760	10,598	10,016	582	14,978	3,803	2,601	1,202
70～74	6,449	2,445	4,004	3,795	209	6,623	1,178	795	383
75～79	2,657	1,243	1,414	1,358	56	2,702	319	218	101
80～84	1,199	685	514	497	17	1,220	103	65	38
85歳以上	382	233	149	144	5	384	26	19	7
男	276,425	20,259	256,166	227,078	29,088	299,318	149,412	97,431	51,981
15～19 歳	5,239	127	5,112	4,698	414	5,459	2,234	1,600	634
20～24	25,342	448	24,894	22,117	2,777	26,185	12,914	9,294	3,620
25～29	26,648	718	25,930	22,597	3,333	27,199	14,087	10,203	3,884
30～34	26,114	869	25,245	21,970	3,275	26,749	14,288	10,378	3,910
35～39	27,872	1,192	26,680	23,167	3,513	29,423	15,860	10,796	5,064
40～44	33,061	1,839	31,222	27,411	3,811	36,335	19,498	12,413	7,085
45～49	38,784	2,820	35,964	31,561	4,403	43,059	22,372	13,694	8,678
50～54	32,668	2,440	30,228	27,058	3,170	38,148	20,833	12,183	8,650
55～59	27,397	2,511	24,886	22,487	2,399	31,737	16,280	9,541	6,739
60～64	17,004	2,614	14,390	13,135	1,255	18,014	6,749	4,484	2,265
65～69	9,595	2,137	7,458	6,956	502	10,101	3,027	2,019	1,008
70～74	4,045	1,318	2,727	2,557	170	4,197	915	593	322
75～79	1,662	691	971	922	49	1,700	250	163	87
80～84	754	402	352	340	12	773	87	56	31
85歳以上	240	133	107	102	5	239	18	14	4
女	192,971	18,530	174,441	164,836	9,605	201,379	68,881	50,868	18,013
15～19 歳	4,630	63	4,567	4,275	292	4,841	1,946	1,443	503
20～24	25,388	274	25,114	23,099	2,015	27,459	14,187	10,101	4,086
25～29	20,219	515	19,704	18,109	1,595	21,510	10,848	7,962	2,886
30～34	15,521	870	14,651	13,685	966	16,322	6,947	5,180	1,767
35～39	16,444	1,211	15,233	14,386	847	17,228	6,009	4,378	1,631
40～44	22,652	1,845	20,807	19,796	1,011	23,474	7,072	5,239	1,833
45～49	29,071	2,728	26,343	25,153	1,190	29,881	8,246	6,246	2,000
50～54	23,091	2,588	20,503	19,721	782	23,792	6,123	4,640	1,483
55～59	17,271	2,527	14,744	14,209	535	17,815	4,292	3,213	1,079
60～64	9,935	2,224	7,711	7,470	241	10,160	2,079	1,613	466
65～69	4,763	1,623	3,140	3,060	80	4,877	776	582	194
70～74	2,404	1,127	1,277	1,238	39	2,426	263	202	61
75～79	995	552	443	436	7	1,002	69	55	14
80～84	445	283	162	157	5	447	16	9	7
85歳以上	142	100	42	42	-	145	8	5	3

## (2) 流出入口

市外へ通勤・通学のため流出する人口は、通勤者 38,693 人、通学者 8,053 人の合計 46,746 人となった。これを平成 2 年調査と比べると、8,510 人(22.3%)の増であった。前回の増加率 24.8%と比べ増加の幅はやや下回ったものの、依然として 20%を超える増加が続いている。

流出人口のうち通勤者を年齢別に見ると、45～49 歳の 5,593 人が最も多く、次いで 25～29 歳が 4,928 人、40～44 歳が 4,822 人などと続き、20～49 歳の階級で全体の 7 割以上を占めている。市外への通勤者のうち男は 29,088 人、女は 9,605 人となっている。

## 3 市内に常住する通勤・通学人口

平成 7 年 10 月 1 日現在に本市に常住する 15 歳以上就業者は 469,396 人で、このうち自宅で従業する者は 38,789 人、自宅外で従業する通勤者は 430,607 人となった。また、15 歳以上通学者は 74,991 人で 15 歳以上の通勤・通学者は併せて 505,598 人となった。

この結果を平成 2 年調査と比べると、通勤者は 28,647 人(7.1%)増、通学者は 5,693 人(7.1%)減で、合計では 22,954 人(4.8%)の増であった。自宅で従業する者は、前回調査では 3.0%増加していたが今回は 25.0%の大幅な減となった。

表 - 4 従業地・通学地別 15 歳以上就業者・通学者数

従業地・通学地	総 数				就 業 者				通 学 者			
	平成2年	平成7年	増 減		平成2年	平成7年	増 減		平成2年	平成7年	増 減	
			実 数	増減率			実 数	増減率			実 数	増減率
常住する就業者・通学者	534,396	544,387	9,991	1.9	453,712	469,396	15,684	3.5	80,684	74,991	△ 5,693	△ 7.1
自宅で従業・通学	496,276	497,776	1,500	0.3	423,019	430,703	7,684	1.8	73,257	67,073	△ 6,184	△ 8.4
自宅	51,752	38,789	△ 12,963	△ 25.0	51,752	38,789	△ 12,963	△ 25.0	-	-	-	-
自宅外	444,524	458,987	14,463	3.3	371,267	391,914	20,647	5.6	73,257	67,073	△ 6,184	△ 8.4
他市町村で従業・通学	38,120	46,611	8,491	22.3	30,693	38,693	8,000	26.1	7,427	7,918	491	6.6
福岡県内	31,722	39,436	7,714	24.3	25,655	32,898	7,243	28.2	6,067	6,538	471	7.8
福岡市	9,382	11,632	2,250	24.0	6,606	8,376	1,770	26.8	2,776	3,256	480	17.3
直方市	2,711	3,203	492	18.1	2,249	2,823	574	25.5	462	380	△ 82	△ 17.7
飯塚市	961	1,088	127	13.2	757	831	74	9.8	204	257	53	26.0
行橋市	1,363	1,664	301	22.1	1,342	1,632	290	21.6	21	32	11	52.4
中間市	3,456	4,143	687	19.9	2,391	3,070	679	28.4	1,065	1,073	8	0.8
宗像市	972	998	26	2.7	457	564	107	23.4	515	434	△ 81	△ 15.7
芦屋町	662	839	177	26.7	661	837	176	26.6	1	2	1	100.0
水巻町	2,024	2,354	330	16.3	2,015	2,333	318	15.8	9	21	12	133.3
岡垣町	579	968	389	67.2	567	965	398	70.2	12	3	△ 9	△ 75.0
遠賀町	1,104	1,639	535	48.5	856	1,451	595	69.5	248	188	△ 60	△ 24.2
鞍手町	759	1,035	276	36.4	727	973	246	33.8	32	62	30	93.8
苅田町	4,559	5,074	515	11.3	4,263	4,766	503	11.8	296	308	12	4.1
その他の市町村	3,190	4,799	1,609	50.4	2,764	4,277	1,513	54.7	426	522	96	22.5
他  県	6,398	7,175	777	12.1	5,038	5,795	757	15.0	1,360	1,380	20	1.5
山口県	4,487	4,814	327	7.3	3,265	3,671	406	12.4	1,222	1,143	△ 79	△ 6.5
その他の都道府県	1,911	2,361	450	23.5	1,773	2,124	351	19.8	138	237	99	71.7

### (1) 従業地別通勤者

市外で従業する通勤者は平成 2 年調査と比べ 8,000 人(26.1%)増の 38,693 人となった。このうち福岡県内への通勤者は 32,898 人となり、市外で従事する通勤者総数に占める割合は 85.0%であった。

これを従業地別に見ると、福岡県内では福岡市の 8,376 人(市外で従事する通勤者総数に占める割合 21.6%)が最も多く次いで苅田町 4,766 人(同 12.3%)、中間市 3,070 人(同 7.9%)と続いている。県外への通勤者 5,795 人のうち 63.3%(3,671 人)は山口県へ通勤している。

平成 2 年調査と比べると、福岡県内への通勤者が 7,243 人(28.2%)増となったのをはじめ、福岡市 1,770 人(26.8%)増、中間市 679 人(28.4%)増、遠賀町 595 人(69.5%)増などと大幅な増加を示している。

### (2) 産業分類別通勤者

本市に常住する就業者のうち市内で従業するものは 430,703 人で、うち自宅で従業するものは 38,789 人

であった。これを産業大分類別にみると、自宅従業者は卸売・小売業、飲食店の13,014人(自宅従業者に占める割合33.6%)が最も多く、次いでサービス業10,442人(同26.9%)、建設業5,660人(同14.6%)と続いている。自宅外の市内従業者では卸売・小売業、飲食店の103,032人(市内自宅外従業者に占める割合26.3%)が最も多く、次いでサービス業102,716人(同26.2%)、製造業72,004人(同18.4%)、建設業44,965人(同11.5%)と続いている。

市外で従業するもの38,693人を産業大分類別に見ると、製造業が10,193人(市外従業者に占める割合26.3%)と最も多く、次いでサービス業8,535人(同22.1%)、卸売・小売業、飲食店7,766人(同20.1%)と続いている。

市外就業者の最も多い製造業をその従業地別に見ると、苅田町の2,913人(製造業の市外就業者に占める割合28.6%)が最も多く、次いで直方市1,011人(同9.9%)、中間市778人(同7.6%)、宮田町670人(同6.6%)と続いている。

#### 4 市内で従業・通学する通勤・通学人口

平成7年10月1日現在で本市で従業する15歳以上就業者は500,697人で、このうち自宅で従業する者は38,789人、自宅外で従業する通勤者は461,908人となった。また、15歳以上通学者は83,229人で15歳以上の通勤・通学者は併せて545,137人となった。

この結果を平成2年調査と比べると、通勤者は22,564人(5.1%)増、通学者は5,393人(6.1%)減で、合計では17,171人(3.3%)の増であった。

表 - 5 常住地別15歳以上就業者・通学者数

常住地	総数				就業者				通学者			
	平成2年		平成7年		平成2年		平成7年		平成2年		平成7年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率		
従業・通学する者	579,718	583,926	4,208	0.7	491,096	500,697	9,601	2.0	88,622	83,229	△5,393	△6.1
市内に常住	496,276	497,776	1,500	0.3	423,019	430,703	7,684	1.8	73,257	67,073	△6,184	△8.4
自宅	51,752	38,789	△12,963	△25.0	51,752	38,789	△12,963	△25.0	-	-	-	-
自宅外	444,524	458,987	14,463	3.3	371,267	391,914	20,647	5.6	73,257	67,073	△6,184	△8.4
他市町村に常住	83,442	86,150	2,708	3.2	68,077	69,994	1,917	2.8	15,365	16,156	791	5.1
福岡県内	72,633	74,777	2,144	3.0	59,354	61,181	1,827	3.1	13,279	13,596	317	2.4
福岡市	3,155	4,010	855	27.1	2,581	3,056	475	18.4	574	954	380	66.2
直方市	4,791	4,811	20	0.4	4,092	4,062	△30	△0.7	699	749	50	7.2
飯塚市	848	874	26	3.1	682	660	△22	△3.2	166	214	48	28.9
行橋市	7,024	7,270	246	3.5	5,754	6,099	345	6.0	1,270	1,171	△99	△7.8
中間市	11,748	11,319	△429	△3.7	9,759	9,665	△94	△1.0	1,989	1,654	△335	△16.8
宗像市	4,963	4,962	△1	△0.0	4,343	4,175	△168	△3.9	620	787	167	26.9
芦屋町	2,939	2,739	△200	△6.8	2,295	2,261	△34	△1.5	644	478	△166	△25.8
水巻町	6,913	7,384	471	6.8	5,737	6,227	490	8.5	1,176	1,157	△19	△1.6
岡垣町	5,199	4,913	△286	△5.5	4,122	4,000	△122	△3.0	1,077	913	△164	△15.2
遠賀町	3,943	4,066	123	3.1	3,088	3,344	256	8.3	855	722	△133	△15.6
鞍手町	2,010	2,085	75	3.7	1,611	1,630	19	1.2	399	455	56	14.0
苅田町	4,114	4,344	230	5.6	3,501	3,746	245	7.0	613	598	△15	△2.4
その他の市町村	14,986	16,000	1,014	6.8	11,789	12,256	467	4.0	3,197	3,744	547	17.1
他県	10,809	11,373	564	5.2	8,723	8,813	90	1.0	2,086	2,560	474	22.7
山口県	7,253	7,718	465	6.4	5,601	5,860	259	4.6	1,652	1,858	206	12.5
その他の都道府県	3,556	3,655	99	2.8	3,122	2,953	△169	△5.4	434	702	268	61.8

##### (1) 常住地別通勤者

市外からの通勤者は平成2年調査と比べ1,917人(2.8%)増の69,994人となった。このうち福岡県内に常住する通勤者は61,181人となり、市外からの通勤者の87.4%を占めている。

これを常住地別に見ると、福岡県内では中間市の9,665人(市外からの通勤者に占める割合13.8%)が最も多く、次いで水巻町6,227人(同8.9%)、行橋市6,099人(同8.7%)、宗像市4,175人(同6.0%)と続いている。福岡県外からの通勤者8,813人のうち66.5%(5,860人)は山口県からの通勤者である。

平成2年調査と比べると、水巻町からの通勤者が490人(8.5%)増となったのをはじめとして、福岡市475

人(18.4%)増,行橋市 345 人(6.0%),遠賀町 256 人(8.3%)増などで増加している。これに対し,宗像市 168 人(3.9%)減をはじめとして,岡垣町 122 人(3.0%)減などでは減少となった。

## (2) 産業分類別通勤者

市外から通勤するもの 69,994 人を産業大分類別に見ると,製造業が 17,100 人(市外からの通勤者に占める割合 24.4%)と最も多く,次いでサービス業 16,885 人(同 21.1%),卸売・小売業,飲食店 12,825 人(同 18.3%)と続いている。

市外からの通勤者の多い製造業を通勤者の常住地別に見ると,中間市に常住するものが 2,554 人(製造業の市外からの通勤者に占める割合 14.9%)と最も多く,次いで行橋市 2,023 人(同 11.8%),水巻町 1,496 人(同 8.7%)などと続いている。

表 - 6 常住地による従業市町村,産業(大分類)別 15 歳以上就業者数

常住地による従業市町村	総 数	産 業 大 分 類													
		農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気・カ ス・熱供 給・水道業	運 輸・ 通信業	卸売・小売 業, 飲食店	金 融・ 保険業	不動産業	サービ ス 業	公務(他に 分類され ないもの)	分類不能 の 産 業
常住する就業者	469,396	4,090	40	867	432	55,485	85,261	2,918	39,245	123,812	14,491	4,740	121,693	13,342	2,980
自市で従業	430,703	4,031	34	837	379	50,625	75,068	2,523	35,273	116,046	13,432	4,508	113,158	11,961	2,828
自宅	38,789	3,647	12	704	6	5,660	3,064	-	643	13,014	631	819	10,442	6	141
自宅外	391,914	384	22	133	373	44,965	72,004	2,523	34,630	103,032	12,801	3,689	102,716	11,955	2,687
他市町村で従業	38,693	59	6	30	53	4,860	10,193	395	3,972	7,766	1,059	232	8,535	1,381	152
福岡県内	32,898	48	4	4	40	3,779	9,284	377	3,071	6,534	861	198	7,392	1,182	124
福岡市	8,376	2	-	1	-	1,090	686	160	1,053	2,271	345	109	2,214	414	31
直方市	2,823	7	2	-	-	213	1,011	32	156	612	84	5	609	85	7
飯塚市	831	-	-	-	-	75	179	39	67	185	27	2	201	49	7
行橋市	1,632	3	-	-	-	154	455	29	70	320	73	6	364	145	13
中間市	3,070	2	-	-	1	454	778	22	135	672	104	11	826	56	9
宗像市	564	3	-	1	-	77	41	-	54	137	18	4	209	18	2
芦屋町	837	1	-	1	-	71	146	2	36	95	20	3	313	148	1
水巻町	2,333	6	1	-	3	343	604	17	157	559	45	13	527	47	11
岡垣町	965	3	-	-	3	122	209	1	188	145	31	3	247	13	-
遠賀町	1,451	1	-	-	4	258	328	-	168	259	10	10	378	29	6
鞍手町	973	4	-	-	-	150	540	5	51	90	3	5	123	2	-
苅田町	4,766	-	-	-	22	304	2,913	17	500	470	52	10	418	32	28
その他の市町村	4,277	16	1	1	7	468	1,394	53	436	719	49	17	963	144	9
他 県	5,795	11	2	26	13	1,081	909	18	901	1,232	198	34	1,143	199	28
山口県	3,671	9	-	8	7	505	635	4	347	939	173	25	815	192	12
その他の都道府県	2,124	2	2	18	6	576	274	14	554	293	25	9	328	7	16

表 - 7 従業地による常住市町村,産業(大分類)別 15 歳以上就業者数

従業地による常住市町村	総 数	産 業 大 分 類													
		農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気・カ ス・熱供 給・水道業	運 輸・ 通信業	卸売・小売 業, 飲食店	金 融・ 保険業	不動産業	サービ ス 業	公務(他に 分類され ないもの)	分類不能 の 産 業
従業する就業者	500,697	4,104	46	1,019	503	58,344	92,168	3,099	44,179	128,871	15,646	5,030	130,043	14,687	2,958
自市に常住	430,703	4,031	34	837	379	50,625	75,068	2,523	35,273	116,046	13,432	4,508	113,158	11,961	2,828
自宅	38,789	3,647	12	704	6	5,660	3,064	-	643	13,014	631	819	10,442	6	141
自宅外	391,914	384	22	133	373	44,965	72,004	2,523	34,630	103,032	12,801	3,689	102,716	11,955	2,687
他市町村に常住	69,994	73	12	182	124	7,719	17,100	576	8,906	12,825	2,214	522	16,885	2,726	130
福岡県内	61,181	69	10	24	113	6,855	15,544	544	6,887	11,102	1,964	473	15,008	2,480	108
福岡市	3,056	2	-	2	5	308	221	46	285	669	162	65	1,071	203	17
直方市	4,062	6	1	2	2	490	1,026	55	482	734	84	19	1,004	149	8
飯塚市	660	-	-	-	1	100	97	22	77	144	17	7	140	55	-
行橋市	6,099	4	2	3	10	383	2,023	67	875	1,060	151	47	1,236	232	6
中間市	9,665	18	-	2	12	1,312	2,554	47	906	1,760	299	61	2,482	190	22
宗像市	4,175	5	-	2	-	396	1,163	34	264	655	168	41	1,068	368	11
芦屋町	2,261	2	-	-	3	262	625	14	209	435	87	10	571	43	-
水巻町	6,227	7	1	2	7	839	1,496	34	647	1,294	198	36	1,526	132	8
岡垣町	4,000	5	1	7	4	410	1,059	33	364	694	169	29	1,052	166	7
遠賀町	3,344	6	-	-	1	356	932	28	292	655	120	28	787	133	6
鞍手町	1,630	1	-	1	2	262	455	6	198	283	33	10	347	31	1
苅田町	3,846	1	1	-	6	290	1,108	37	390	761	118	32	969	129	4
その他の市町村	12,156	12	4	3	60	1,447	2,785	121	1,898	1,958	358	88	2,755	649	18
他 県	8,813	4	2	158	11	864	1,556	32	2,019	1,723	250	49	1,877	246	22
山口県	5,860	3	-	25	9	486	984	13	1,066	1,368	183	29	1,478	185	11
その他の都道府県	2,953	1	2	133	2	378	572	19	933	355	67	20	399	61	11

## 5 流入超過人口

昼間に通勤・通学のために市外から本市に流入してくる人口と、市外に同じく通勤・通学のために流出する人口との差である流入超過人口は、通勤者 31,301 人、通学者 8,729 人の合計 40,030 人となった。これは平成 2 年調査と比べ通勤者 6,083 人(16.3%)減、通学者 465 人(5.6%)増の合計 5,618 人(12.3%)減であった。

表 - 8 昼間流動人口

区 分	平成2年	平成7年	増減(7年-2年)	
			実 数	増減率(%)
流入人口	83,884	86,776	2,892	3.4
通勤者	68,077	69,994	1,917	2.8
通学者	15,807	16,782	975	6.2
流出人口	38,236	46,746	8,510	22.3
通勤者	30,693	38,693	8,000	26.1
通学者	7,543	8,053	510	6.8
流入超過人口	45,648	40,030	△ 5,618	△ 12.3
通勤者	37,384	31,301	△ 6,083	△ 16.3
通学者	8,264	8,729	465	5.6

流入超過人口は、昭和 50 年の 57,591 人をピークとして減少し、前回平成 2 年調査では、昭和 38 年の市制施行以来最低となったが、今回はそれを更に下回る結果となった。

(参 考) 大都市の昼間人口

都 市 名	夜間人口	昼間流入人口	昼間流出口	昼間人口
札幌市	(1,752,149) 1,757,025	89,058	54,318	1,786,889
仙台市	(969,971) 971,297	131,173	41,251	1,059,893
千葉市	(856,593) 856,878	189,102	215,356	830,339
東京都区部	(7,935,211) 7,967,614	3,723,570	467,436	11,191,345
川崎市	(1,201,881) 1,202,820	255,500	390,077	1,067,304
横浜市	(3,303,708) 3,307,136	420,490	760,326	2,963,872
名古屋市	(2,144,334) 2,152,184	574,219	175,072	2,543,481
京都市	(1,454,286) 1,463,822	269,828	122,622	1,601,492
大阪市	(2,596,486) 2,602,421	1,496,230	289,513	3,803,203
神戸市	(1,422,563) 1,423,792	242,618	171,484	1,493,697
広島市	(1,106,763) 1,108,888	104,975	60,424	1,151,314
北九州市	(1,018,897) 1,019,598	86,776	46,746	1,058,927
福岡市	(1,280,405) 1,284,795	266,527	67,846	1,479,086

※夜間人口欄の上段( )は、昼間人口の算出基礎となる常住人口で、年齢不祥のものを除いた数値である